

KOBE

PHIL

HAR

MONIC

Happy・Friendly・Open mind  神戸と街と音楽と

神戸 フィルハーモニック

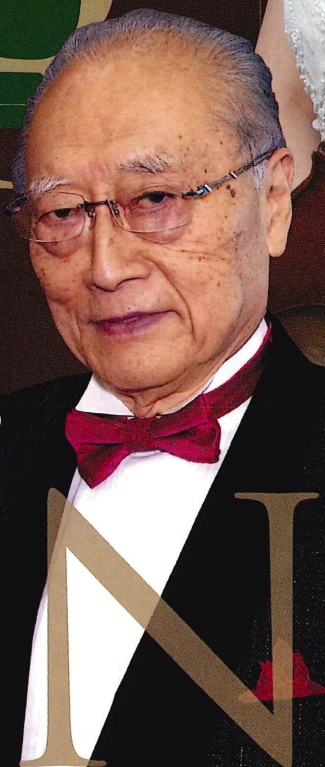
第88回

The 88th
REGULAR
CONCERT

定期演奏会
〜抒情と哀愁〜

ヴァイオリン独奏
中村友希乃
Yukino Nakamura

指揮
朝比奈千足
Chiharu Asahina



2024年10月13日(日)

神戸文化ホール 大ホール

14:00 開演 / 13:30 開場

入場料
— 全席自由
— 一般前売 ▶ 2,500円 (当日 ▶ 3,000円)
— 学生 ▶ 1,000円 (前売、当日共)

チケット
— 発売日 6月30日(日) 10:00 ~
— ■ 神戸文化ホールプレイガイド
TEL.078-351-3349
— ■ イープラス <https://eplus.jp>



■ J. ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77 ヴァイオリン独奏: 中村 友希乃
JOHANNES BRAHMS: VIOLIN CONCERTO IN D MAJOR, OP.77 YUKINO NAKAMURA, VIOLIN

■ A. ブルックナー: 交響曲 第4番 変ホ長調 作品104「ロマンティック」(1878/80 第2稿)
ANTON BRUCKNER: SYMPHONY NO. 4 IN E-FLAT MAJOR, WAB.104 "ROMANTIC" (EDITION: 1878/80 VERSION II)

※やむを得ず曲目、出演者を変更する場合があります。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※学生券はご入場の際に学生証提示をお願いする場合があります。

主催: 一般社団法人 神戸フィルハーモニック協会 共催: 公益財団法人 神戸市民文化振興財団 協力: 神戸フィルハーモニック後援会
お問合せ: 神戸フィルハーモニック(富樫) 090-9613-6268

～抒情と哀愁～

二人の大作作曲家ブラームスとブルックナーの書いた曲は、どちらもその規模は違っても骨格のしっかりした典型的なドイツ音楽です。ブルックナーはオーストリーの小さな町リンツの郊外で生まれました。

一方のブラームスは北ドイツのハンブルグ、彼が生まれた当時は今ほどの大都会ではなく、恐らくまだ小さな田舎町だったろうと思います。そんな小さな町でこの二人はごく限られた人たちとの交流の中でいろいろな音楽に触れ、作曲意欲を高めていったのだらうと思います。しかしこの二人はその方向性は違っていてもウーンで共にその才能を本格的に花開かせました。

この二人の創り出す音楽はどちらもオーケストラの響きを大切に、まるで音の大建造物を思わせるところがあります。そしてその内容はヨーロッパの抒情と哀愁が交錯するドイツロマン派の神髄をゆくものです。

そんな二人の巨匠の面影を想像しながら、彼らの名曲を聴いていただきましょう。

音楽監督 朝比奈 千足



中村 友希乃 YUKINO NAKAMURA

兵庫県神戸市出身。4歳よりバイオリンを始める。第64回全日本学生音楽コンクール全国大会バイオリン部門中学校の部第3位及び横浜市民賞受賞。第14回クロースターシェンター国際バイオリンコンクール(ドイツ)にて第1位及びパッサ特別賞受賞。第6回 アンリマルト国際バイオリンコンクール(ドイツ)にて第2位及びYouth Jury賞受賞。第8回 仙台国際音楽コンクール 第6位及び聴衆賞受賞。第2回 芦屋音楽コンクール アンサンブル部門にて第1位受賞等国内外で多数の受賞歴を持つ。

第27回京都芸術祭音楽部門にて毎日新聞社賞及び聴衆賞、第36・38回霧島国際音楽祭にて霧島国際音楽祭賞等受賞。2013年第22回ヤングブラハ国際音楽祭に推薦され、ブラハでのオープニングコンサート及びスメタナ音楽祭等に出演。NHK-FMリサイタルノヴァに出演。これまでに、日本センチュリー交響楽団、Hofer Symphoniker、藝大フィルハーモニア、仙台フィル他と共演。東京藝術大学学内にて安宅賞、宮田亮平賞、同声会賞、アカンサス音楽賞受賞。2016-2019ヤマハ音楽奨学支援生。これまでに、石川誠子・小栗まち絵・玉井菜採・堀正文・インゴルフトゥルバン各氏に師事。私立相愛高等学校音楽科特待生、東京藝術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程を卒業後、現在ミュンヘン演劇音楽大学マイスター課程に在籍中。関西国際ナショナルスクールバイオリン講師。

朝比奈 千足 CHITARU ASAHINA

県立神戸高校を経て慶応義塾大学卒業後ただちに渡独。1971年、ベルリン国立高等音楽学校(現芸術大学)を卒業後、クラリネットリサイタルをベルリンで開催し、クラリネットの独奏者としてデビュー。帰国して1975年に大阪フィルハーモニー交響楽団の欧州演奏旅行にソリストとしてスイス、ドイツ、オランダなど11都市で協奏曲を演奏した。1976年に指揮研修のため再び渡独、ベルリン国立歌劇場の音楽監督スイットナーの指揮助手を務める。翌77年に帰国し、大阪フィルハーモニー交響楽団と東京都交響楽団を指揮して日本でデビューした後、全国各地において本格的な指揮活動を展開する。1979年に神戸市のオーケストラ設立計画に参画し、神戸フィルハーモニックの結団と同時に音楽監督および常任指揮者に就任する。2009年に神戸市より文化賞を受ける。2015年、オーストラリア政府よりオーストラリア名誉勲章を授与される。



神戸フィルハーモニック

KOBE PHILHARMONIC

神戸市民のオーケストラとして神戸市により設立された神戸フィルハーモニックは、1979年4月、朝比奈隆氏をはじめとする多くの文化人や実業家によって設立された「神戸市交響楽協会」を運営母体にして活動を開始した。

オーディションによりプロ・アマ問わず腕利きのプレイヤーが集結、他に類を見ない新しいスタイルのオーケストラとして、1980年1月、神戸文化ホール大ホールにてデビューコンサートを実施。以来、年2回の定期演奏会、ニューイヤーコンサートに加え、依頼演奏や小編成によるサロンコンサートなど、各地で精力的に演奏活動を展開している。また、創立当初から朝比奈千足が音楽監督兼常任指揮者を務め、一貫した音楽性と表現力で同団を牽引し、豊かな神戸フィルサウンドを創造し続けている。1995年、阪神淡路大震災後、同団や団員も被災者でありながら各地で慰問演奏を実施。2011年、東日本大震災発生後、復興への思いと感謝の意を込め、チャリティーコンサートを実施し、その収益金を東日本あしなが育英会等へ付与。南三陸町歌津地区や南相馬市へ訪問演奏するなど現在もその活動を継続している。1997年、神戸市文化活動功労賞を受賞。2020年、創立40周年を迎えた同団は、「神戸市民のためのオーケストラ」として、上質なクラシック音楽とオーケストラの魅力を全国に発信し続ける。



今後の演奏会

ニューイヤーコンサート2025

2025年1月11日(土) 14:00開演/13:30開場
神戸文化ホール 大ホール
| 出演 | 指揮:朝比奈 千足
| 曲目 | J.シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか

第89回定期演奏会

2025年6月1日(日) 14:00開演/13:30開場
神戸文化ホール 大ホール
| 出演 | 指揮:坂入 健司郎
| 曲目 | 未定

後援会ご入会のお願い

神戸フィルハーモニックの後援会にご入会いただき、神戸フィルを応援していただけませんか?皆さまのご協力をお願いいたします。

年会費 **6,000** 円(1口以上)

- 特典
 - ①年2回の定期演奏会及び、ニューイヤーコンサートへのご招待
 - ②会員証の発行
 - ③定期演奏会のプログラム、ホームページへのご芳名の記載
- 入会方法
 - 右記のコードからお申込みいただくか、
<http://www.kobephilharmonic.jp/formkoenkai1.htm>
へアクセスの上、お申込みフォームからご送信ください。



神戸文化ホール

〒650-0017
神戸市中央区楠町4丁目2-2

▼アクセス

- 神戸市営地下鉄西神・山手線
「大倉山駅」徒歩1分
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分
- 神戸市営地下鉄海岸線
「ハーバーランド駅」徒歩12分

